

東胆振定住自立圏形成協定の締結

新たな広域連携の一步へ



左から、戸田白老町長、宮坂厚真町長、岩倉苦小牧市長、瀧安平町長、竹中むかわ町長（3月24日協締式）

3月24日、苦小牧市役所で、苦小牧市（中心市）・白老町・厚真町・むかわ町・安平町の5市町長及び議長が一堂に会し、「東胆振定住自立圏形成協定締結式」が行われました。

「定住自立圏」とは、地方圏における人口減少や少子高齢化が進む中で、地方から大都市への人口流出を食い止め、圏域の市町が連携・協力しながら、互いに役割分担を担い、生活機能の確保や地域住民の利便性向上など、圏域全体の活性化を図ることを目的とした広域連携の取り組みであり、各市町における議会議決を経て、このたび協定の締結が行われました。

4月からは、圏域の住民や民間団体等を構成員とする「共生ビジョン懇談会」を設置し、協定項目に基づき具体的な取り組みを定める「共生ビジョン」の策定に向けた審議検討を行っていきます。

◆主な協定項目

分野	分類	取組項目
生活機能の強化に係る政策分野	医療	医療情報のネットワーク化
		広域救急医療体制の充実及び病診連携
	福祉	高齢者等見守り SOS ネットワーク
	教育	生涯学習機会の充実
		図書館相互利用の促進
	産業振興	地域ブランドの推進
		鳥獣害防止事業の推進
防災	防災体制の充実	
環境	循環型社会の構築	
結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	地域公共交通	地域公共交通の維持管理と利用促進
	交通ネットワークの整備促進	圏域内における交通ネットワークの形成
	生産者と消費者との連携による地産地消	地産地消の拡大
	移住・交流	移住・交流促進
	その他の結びつき等の強化に係る連携	広報連携による情報提供
圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	宣言中心市等による人材育成	職員の合同研修等の実施

今月の「あびら回顧録」はお休みします。